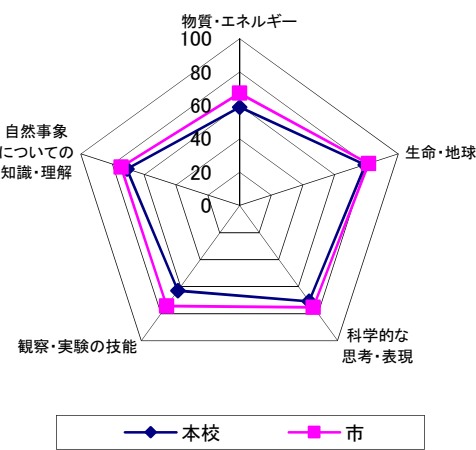


宇都宮市立白沢小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	59.0	67.3	64.4
	生命・地球	79.2	81.3	80.3
観点別	科学的な思考・表現	70.9	75.3	72.6
	観察・実験の技能	63.0	74.4	73.5
	自然事象についての知識・理解	71.0	74.7	73.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	平均正答率は、市を下回っている。 ○水溶液を用いた実験における注意点について答える設問では、正答率が88.1%と高かった。 ●「ろ過」という実験操作名、質量保存、水溶液の性質に対する正答率が市より低かった。	・実験前や実験中に指示した安全面における注意事項をよく聞き、実践していることで、理解につながっていると思われる。今後も同様の指導を継続していく。 ・器具名や操作など、実験中に繰り返し児童が使いながら理解できるようにする。また、結果の整理、思考の流れを説明したり、キーワード学習を使って分かったことをまとめたりする活動を取り入れる。
生命・地球	平均正答率は、市を下回っている。 ○月の形の見え方や月の周期を答える問題での正答率が95%以上と非常に高かった。 ○水中生物の食物連鎖や植物の光合成について答える問題の正答率が9割以上と高かった。 ●人の誕生における設問の正答率が市よりも低かった。	・具体物を用いて、授業を行ったことが理解につながったと思われるので、今後も継続して行っていく。 ・「食べる」「食べられる」の関係を図で表すなど、エネルギーの供給・消費面から考察させる活動を取り入れることで、図や言葉で表現する活動を継続していく。 ・へその緒の役割の重要性や胎児の育ち方の意味などを、生物の成長や栄養と関連させて指導していく。